

(別紙4(2))

事業所名: グループホームありすの家2F

目標達成計画

作成日: 令和 3年 2月 24日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束に該当する行為はないが、ホームでの実践状況を対外的に示す文書として身体拘束適正化委員会の記録は重要であることから、委員会開催時にはその内容を確実に記録に残し、議事内容の職員への周知を図る。	身体拘束適正化委員会の設置目的を再度検討し、身体拘束廃止に向けた体制を整えていく。	定期的に(概ね3ヶ月に1回)身体拘束適正化委員会を開催し、身体拘束等が確認されなかった場合においては、身体拘束廃止の研修を実施し、議事録を作成する。	3ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。